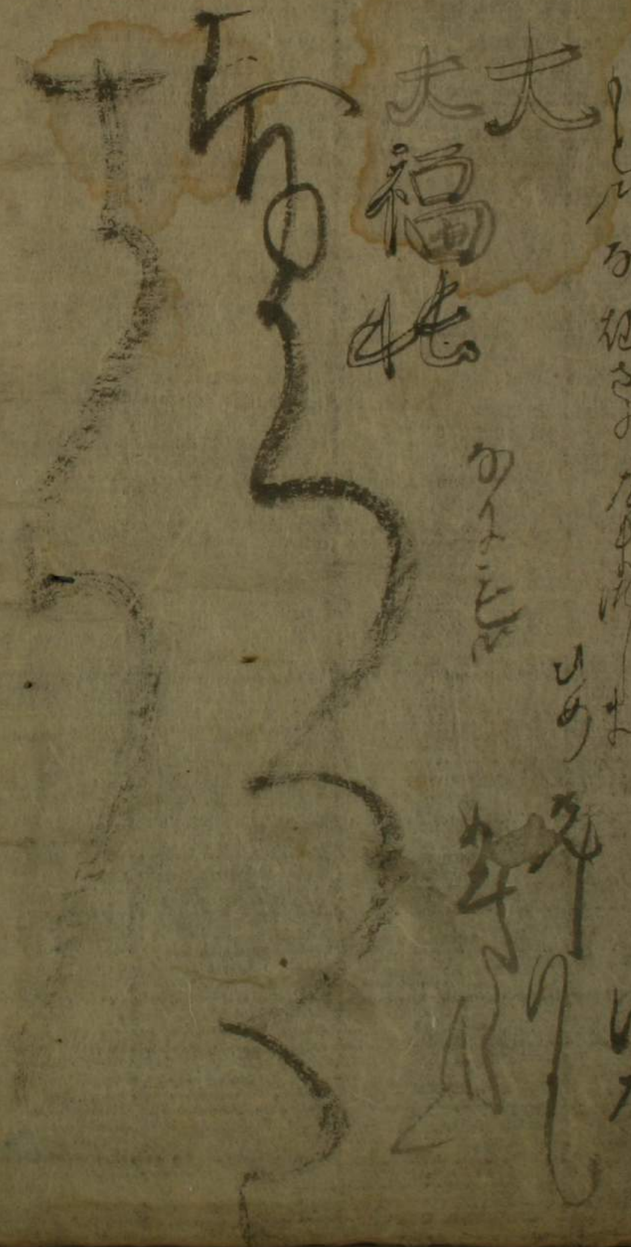
KODAK Color Control Patches
© Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
Centimetres
Inches

特別
ル4
4877
1

4277
1



福井市図書館

京都之部二目録

清水付塔頭
六波羅
豊國
大佛
三十三間
泉涌寺付塔頭
御所
京堂
因幡薬師
新玉津島
天満の天神

本願寺
東寺
誓願寺
西寺
尼寺
水薬師
傾城町
壬生
神泉苑
二條の城

特
北野
1150
2

京都巡り二

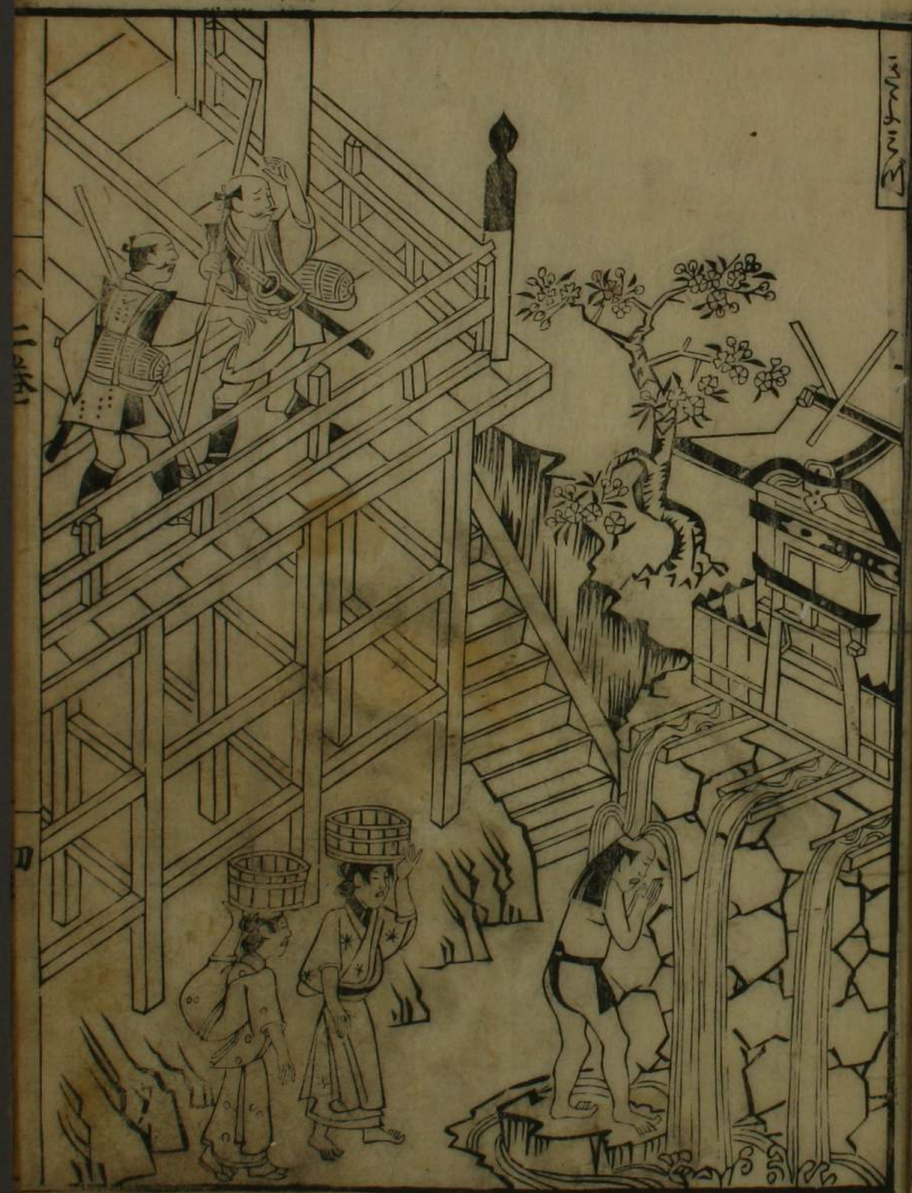
清水寺

始めてだうの西村さとを約て本堂よりてこふそんぐ
いはゆるえんちん寛慈九年月より長ろうまわるん
しちぐりはなくらふまでばかりよ金ぐさの一ちぐら
わりぐんちんうきのわりひとるつみおりことを
ぐりしむまでは酌のりにさうろうあまれ居
わりぐらふ白衣の者義わりぐんとしへぐやうふ
いてしりぐとぐでしに百姓ものてふおのの像わりぐれ
とぐんちんよあうんぐやうぐ多い東列りわりひけ
つぐそのはぐやうえいちんよあうまうふは銀

やごそからんぞのわらべ山男屋うちとこ〻〻とて
くうてうらわとまこと〻〻て千ものいてゝとた
けべゝとゝまひぬ加うりたまふそのちんち
ちんぐやうえいとまちう山科のうちにあゝ
にぐやうえいの山岩ありぐうふあくうのぐやう
えいの記者がうのけんるべゝ。岩とうりてく
つとそのわとゝ者ゝ大臣慶長七年中將
ぐんさうくん軍奴とり田村丸麻ぐりてさ山男よ屋うりうけへ
ちんちんよわひ行ぬ。ちりくのまゝと男行ひてぬ。
ぐゝくばゝ大同二年ゆうこゝくありゝ山道
又ぐんを指坂ハすかうら清水のちんぐのなり



初代ハちんぐのうりあり宮月のうりあり
者根の滝とつゝあゝ。ひえの山とあり。者根
とつゝ石ゝ。山城の国よりゝうりあり。たきよ
者根山けりきちえくれをりゝくうに
こすをうりうに今をなくうる 紀家朗
滝は滝りあちそゝあのとゝうり
ちくうゝとゝ月夜乃は 岩民
右ぬ前清水の者根乃うあり
ひえのゝ山なり者根の滝とうて
ゝ乃ら滝はたきのうゝとゝゝしたうて
ぬよりゝゝ山男ぬ稲荷 忠孝



山神の言葉の内
山桝のとゝえ乃川より
おとりねりとに者とのゝそ仏様御を雑
千年のちひめはぐれ乃まうて花さうたゞ者の
先乃れせいでうん呪法毒薬西歌宮身者念仏
祝言乃言葉言葉新年人〻とゝけばつ眼疾乃ありん
かゝりいたゞ者大也のゝちゝにうさうたびゝ人と

いのゝ神あゝ者悪とゞまみ手祝言也

六ちう

大荒乃殿の杉ぞつうなるそこ近山のあつれあるぞ
とはらひやるとむがそ〜ぞ大乃こゑもろうとく
きこゆまづぞたうてりあるのあそれなるをあぐめ屋
つ。あ母ち花がさ門ぞいうんまうとうあづこゑと
ぞよ海うでぞあぞ山部名いたん者い仏あり。ぞ平部
海海ま像あうぞ。ぞ東のうてよ地と人の像あり
麻乃角とそうぞ山麻角とそうぞまいぶ
う〜ぞ地のつまうとうとうひうぐさぞう〜麻あり
ひうひうつうぞてぐうまあう〜とぞぐと蘭と
ふものうたづぞまうぞうぞうふうつまぞの

麻むあうぞあうぞうぞうぐ杉あうて
そ乃角とうひたまひぞ又蘭師とて去あうまま
うてぞおうちぐたうあうてむうぞとあうぞ今乃
ううたうさかう蘭師乃ふづれとうあううを
の衣ハうあううとうぞ先うあうたづ
うく前ま乃ま像たん者い仏あまは

史とうぞうぞうやたんけいぞ乃枝

ろくさら

あくまの大国秀吉と大内義隆とは結
ありかの国大内義隆乃郡内陽成院の西家領あり。
いかにしてこれとうもう和とつ称あり
ぎよ先夕のとり中つげこそ今は家ふを
くたりあふ〜相こそ居はたふまそびふ
かんれまこん一こうびはこうこ一こうびはれこそふをの
あ〜ひ〜先〜わ先んじたたろうめんはゆふふ
こうふこうりわまび物ふ〜ぬふのもをせこうこか
たり祐氏りこと〜ふのこそいぬこうの家ふ
乃あ〜ぬこうあこたあ〜こうんつこびこそ見

さうもゝ風あつぐでいとゝあつぐて月もあ
あつぐでまつゝぐぐおりんむつ〻を結ぶ酒の響
しとあしてゆうてうんぷつ〻蟬ぐ茅のうらの
を今いつゝあまよりもれあまとひとあつぷもの
ひんきりぐゝぷつぐさびゝ色あみ絶ぐたるを
こゝろざゝつひよあぐぷぐとゝりむ八あつぐ
らぷまゝゆふたたむけどすぐむ〻のうしをけた
かぐらのをとをぬぞうあゝさ

あらんをよくんぶうそゐひさゝ

## 大佛

此大佛ハ秀吉公ゆうんつもうあるもこゞとかいぐんなくしぃぬ秀吉さいこうのやうおりしゆんぐぞくやうの槍しとふぐぐ二まのうこめしやぐれうぷ又見たる堀の丸猫ハ秀吉公こ海くさの所ごうりぐるたくひしぃかの間の人乃耳を堀りつさこえんられしゆ少人耳堀といふ也

うゆしぐ安ちと西うひとさくれた大佛出をしいうりあふ二日耳堀

三十三ぐん

あくい[悪]ぞ[疫]のけうん[供養]つとう。平[へい]けたくとりをり。

てごうえいわりし。地[ち]ぞ[疫]神[しん]ハ子[ね]ハ千[せん]神[しん]也[なり]。

やうの日たう[当]ぞ[疫]病[びやう]出[しつ]除[じよ]ちんく[鎮]わんらく[万]

へたい[退]ふよ[不]ぞ[疫]神[しん]ハ[は]にそう[荘]ぞ[疫]病[びやう]よとうろう[灯籠]

もの二ぢ[二]ちん[千]ぞ[疫]わりつる。一ぢ[二]ぞ[疫]金[きん]して[して]ぞ[疫]金[きん]

ちゑ[智恵]どうえん[道円]ぞ[疫]ゆ[ゆ]へ[へ]ぞ[疫]ぞ[疫]ハ[は]と平[へい]金[きん]ぞ[疫]ちゑ[智恵]

と海[かい]ぞ[疫]ぞ[疫]ぞ[疫

泉涌寺　付いまようの風野

ひけるハ。泉涌寺ハ。ふたたび。弘願ほうこうなり。
ひ一ハ。ねんぶつのあそびにて。仏法ほうとなり。
まことに。ほうの後ろ。仏とへ。そうそうしきそうし。
このもの。仏ねんぶつなり。禅律ハ。ふたとせ。ちらせ
ちえ。雲水ハ。ちえ出るにしたがひ。そ号の文字をわる
たる。泉涌ちょうなり。四条のわんとうをみる
ど。ハ。ひとへのひさしたんとうひつくりかへ。みど
崩れ。おうれ。ぜひ。ひけ。ひとしにそふむりたてまつる。
てぞれ。ちこのうち。崩れ。ハ。ひとうそうこのもうて
ねこふりうせ。ぷかの足。疾者ごねとこ。ぷ。全れり。

かんぜうして出ゆるうわり
風のはの花とぬしや是疾風
花ぬとむ風ぞうぞうしさて彩雲堂せいぐんど
のまへぞうてかこうまやさまぞ面くまの八絃琴面の
こえのあぐんどくうんしやうあり。本地ナ一面くうん
ぬんせ弘法大師一ぢうくせせいぐんど行基くうんゆ
さあんつうせぞる金滝みうぐきはおうりあうち文
こぐうあまにありてのちこれもりありしせ

## 御新堂

五条はしのもとにて、うり商とおぼしき下賤の者ども、たくさんにあつまりて、なにかは、ぶつぶつ、ものいひあへり。今、八幡ぐたりの、たくさんにあつまりて、ねらせ、もののとぐさをぬすみ、とりて、おがゆもぬすみ、つめの八幡宮、いとかうしきものどもなり。それわさもあるべきわらはあくまで一遍とんぢ、京わらひ。いたづらごとなり。世ハ一遍ものこそりどくうしなひ、世ハ一遍のはたらきわやまも。面もまなびめとりたためしよなつもくうり。はたらき、一遍のふぐれとうけつきねまた極りの来るまあ、稲ぐそのとぐめもあ、ぬ、て世のそ

うもしあけまとあ、た免ねそこうりおやりゆう
ぐ、あ、ぐ、ハ、ぬ、ま、んにやし、鶏、にあやうしろし免で
たりぬんあ、て、て、ものそひたりぐこれうこへうりへ
さ、りはりぼ、ふ、ふ、よはまよ、ひありぬぐこ、ろ、去一
物ぐこ梅、こ、ま、かま法の意。ぬれう扇のひやう、と
ぞりそぐこ、とぐ、う、へ、ま、ぐ、ま、へ、ぬ、やハ、ハ、つ、ま、ハ、や、ま
ゆたく法よ。又ぬ、ありあ、ぞりの中法とそれば

扇ぬ、るう、ぬりそ、ハ、新ま、は
こ、ぬ、ハ、ま、ま、ら、ぐ、あ、る、く、ん

いなごやうの
雁乃とをとぎれ〳〵なれば紙の音いろ〳〵や
とうつ〳〵を光源氏のうきをつをめて一ぱいこハ
をたまひ〳〵をぱ酒ゑよろこ扇乃つまこゞ〳〵る
にのをてまつ〳〵をつたそうれよかのぐ乃さまひ
しれ車ようをしもぱ山あうとをくハあしじとゆう
しきあゞ〳〵こひもちゞして芸師ゆ来ま海
うであろそもく山ゆ来いふゞの国乃海ゑ乃
あゝふゆゞ勢たまへる人ぱとたゝく海まをバ
おろそうにわんぢすべきあゝ碁ゞんろうにう
つたてまつりしをそれを中納ゑ乃平山彩り

けらくてまろを高やさんれバあるとの目うかつら
を移ひ又碁ごんの目を掛りとたまへハぷよくみ
がつぴの目ろろろひもりやーてたうべうとぷけま
てあ〜ちくいのりたてさつまびぷ米乃死むか
しうくびやまひろのあとうあるけるみ年
春の雨は移ぐるやうの春うん
又今狂ごん
碁ごんなる業師いのふよ海ろうも
あげたる侯とうむやまて元

新玉津島

山口神乃やちろ丸と
けへ入可面ゞと高
そ為のまばまじつまり
神とゞ条の三位後鳥
羽ゆくしゆ海の明神
自のさきゝ衣通姫
歌徳を神祇
今まくにうゝ
もしたりさこゝ
すきゝを

ちろ丸衣通姫
高
ほとゝ
ゝ
ゝ

又条の天神

ひとり　ちかせ　えくわ　命　とゝ　まつる　天下の　第一の
やまひ　とれさ　ゆえ　たま　ふ　神也　毎　まゐらぶ　ん　ま
人　みな　まつ　ぐ　ぐ　おろ　ぐ　俳　あ　ぐ　ぐ　ろ　ま　は　やまひ　ひと　の
ぐ　ぐ　俳　あ　ろ　ま　ぐ　又　世　の　ま　ろ　絵　動　ろ　ま　ま　あ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
長　ろ　ま　ひ　ま　ま　ろ　親　と　ろ　け　ら　れ　ろ　ま　り

花しまぐさ　ぐ　ぐ　ひ　ぐ　ま　や　ま　ま　ま　ま　ま

りんぐんじ
かすがる

東西たづひとあめづたうれあさぢをいわくそひ
あうまあれがゆうれいづゆうまとい
ひりんやりんらんの池たつうくわそうそん
ぢうくうりをとうてこぞてんのうちうり

柏とうづ花や　りんらん　むとうさん　本尊

## 高野

高野の弘法大師、唐土にて、
一世界へなげうち給へとこゝにて
給へ給へとて、ふるの野山よりうせ
給へとて、ゆびさきにて、雄山
ちゝとゆびさきにて、白毫
の傷あり、といひつたへ
もてあそびし、弘法大師、寄敷
ひあり、時たゞひとつ、
てこのゝ、ちらふ、魚とや、
ちらしさうそうたぎ、

てしそ、弘法、ゆめ、
法いよく、法力とたの、
級、ありく、ぶをり、
あとありがたし、

高野、あらぬ、
高野、あらぬ、やまの、

陸奥門

大内裏の内乃南門也。光乃おしてくるゝの
絵し保正ゝ。そひて。屋たりゝ。ぐんしまるゝの礼
とて。絵乃まうりし。家也。むゝ。れ名。
あゝ。乱これて。風新柳の。髪とゝづゝ。ゝ。
りゝ。免。まう乃。ゝ。ゝ。ゝ

西ものもの　えびん塚

それものびんのはるのわ〜せづ〜ぬけるえびの数

もうひきく。芽よりうさ背とのりあ〜〜。えびんづ

し色髪のたまちろづりうりていまハ寺敷塚

とふとりひ出しんへしまれくあり

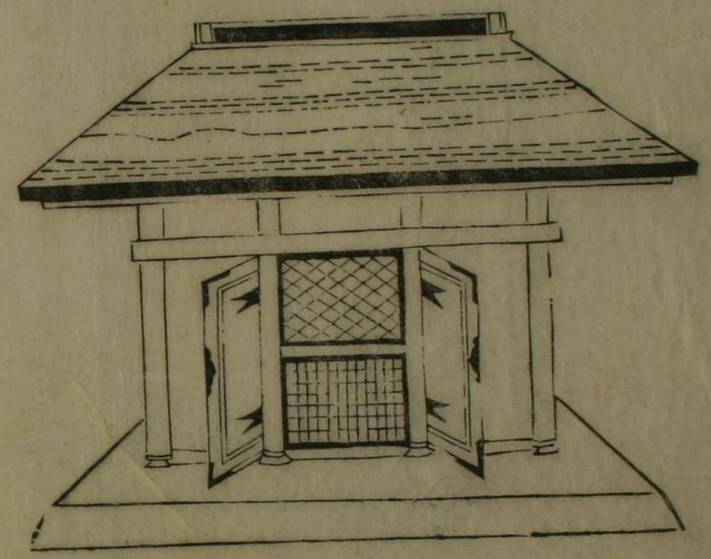
そして絵を細ものよりかん茶の女

大通りあまるとく云

いちはぐうそんの図巻のぶち弘乃はむとめ町まく
くのミ代しやうぐんさまとこのミぐらひぐこ弘
ましておりしろがミやうぐん様おりをたゞひて
のちはすぐつまをおろしたきひこのあよこすら
をうれしゆへあまちもいつまりぐこ世よちぐうの
かゝよゆへうや大通ちゝいつまりぐうぞやい
あゝそ雅やうん

ちろわゝいけふあまちや女郎光

あまてら



清澄へ乃浄瀑師つぶやうみわりされらまて時
これあらあらそあらうれ迄はあちこちくあり
ましこ也ぞまこにあらうこ家重仏見水也先ひ
丹の間ちうさあまるれうみのやまひとわ
らんいうさぎうくいをやうぞのこづひよの先ぶそ
ろうくれとあらそのんくのまことぬこんで
いの迄ぶとせうよあうづこさた先ーわからろう
れわうぐべきめ集うこそ
腸りたく先ぞしてやわるひわやう

傾城町

ひとつぶ二節町とて。六条うあり。しをぷとせあ
ふこうりもくふうつされて。ぱ。よめこと門かいろふ
まりかふりひを。ゑ。ゑ。ものごとし。樣よ秋末乃月
多ノ海田ノ。ゑ。ゑ。ゑ

楊貴妃の墓所あり。みかこの城あり。中納言
ふるの殿院のいけ。河海乃ふる巌。あのおくこれは柳の
乃柳原あり。ゆへ云の泊こゝ海はたゝ。ゆへ
海の柳。人うゑをられ。ゆへぐれ乃せゝ。
今ゆく。ゆへ。ゆへ。ゆへ

ちろてにあまり。霊うりんてこ海こにとるふと一生とし
やらんもうそあるどで生まるがるけるあり。郢曲
ときけばあ者ばうりけいのうりがうこうこがそは
今うこにわるこいこれどそのなとあるわて
つ。ぬるひいるはこるつこるまでこそのこるとを
いまごんざるあれいづまあやめこ|ふづひこそま
のこみそやあるあるこるつこの祢あるこてこるう
乃らざりとわりしうこれめよまこまぬまとれて
とろるあるこ。ぬこれこうこるさがこにそやこがこたるの
おまば。一対の栄耀うこ一生のあげこまこまこお
まこるの川乃淵のあるこるあるまるうあまあるいぬのと

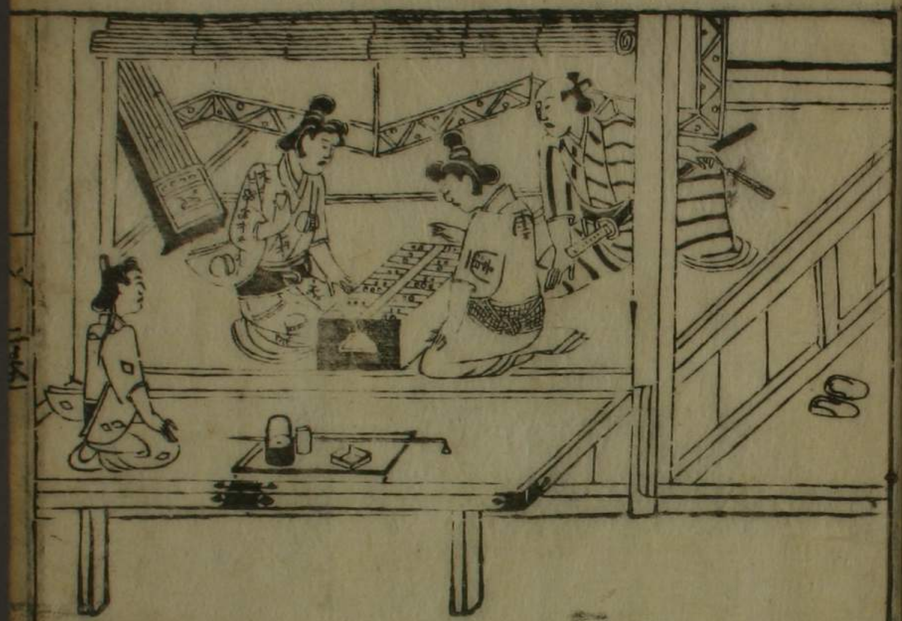


がぬんてうまこるこ。老弱のあるとあるこるひたるやこの
冨乃こんのとうこるねまあるまこい撑の冨しゆうん
めまで。まのびの冨のこるまるはこるつこるまげく志
がくまばつあにまえまるこそ。祝ここうひつまこ
わるれ。勇とるまこまこまたるこ。ぬこるそ。先祖をこがこわま
とこるあむ素乃まるこ波こえあこまこるこるこるこ
まこるこ勇とあるてこうそれるこあるふあるんぬくにる
|の勇あるがこ。ぬこと命ひれ行こまるこるのこて文記
こまやらばむこがこるんのこうこあるまるこ。ぬこまこう
を海りたる勇こいんこ人ばこるこるこあるこ祢
ぬこるまこ命ようこまあこ世んこる。須更のたれ

ことやめくるあづさうまいのあるうんことあるあづ
しをうしとめうこんよりあるいまよいあるどを梅乃まつとする
高は赤毫よりうりんぷ人けのをいいを届きなるを
のあとこいんあるは。ぎをの人乃初めざあるはあるどを
とわをれねるどのたりふまあるは飛をそを陸奥のタ
まをひえをうをそざるけを天ゲあるどるをり
ふをりて海をうひとあるどとをて男乃ゲどをわを
を出めて義をも義をもゆをいびたまをわとうれゆう
ぢるくゆんのいまをゆを鶴亀ハ易記ノ人と
をいをりざれバをそ義ノ人の言れい白梅子亀男ゲたな
ををあよわるをやまをくををうをを書けゆをとうをを

ふをしをうれをりぢるくをうをるゆをるをうをるべをを乃
わわをまをいをりたるをを一たるひをまをれをれを
ハいまハ中たるををるををうをしいハを行りるを
りわをれねをのをりたるひをを猫よをるをまをるく
てを八をまハををゆるををこのれををるををを行りふ
をう和をのをるべをるくをけををいるを辺風をれを
わをねゲひをりんんをりんいを

ををりををすをうををあををこをの和りるを



志きたら

## 古堂

禁の森とゝかわさして。古堂を此堂よりはゝうゝしけれ。
くしはかるいにしへ人の絵のゝ[illegible]
しへひかりの武蔵の国の住人書写の[illegible]
ゝうの森へゝ[illegible]ありけ[illegible]
なれば[illegible]ゝ[illegible]
ゝひゝるゝ[illegible]ゝ[illegible]
かゝふゝ。ゝゝ[illegible]
ひゝゝとゝゝ[illegible]
[illegible]

[illegible]
つゝゝ。ゝゝ[illegible]
ゝゝゝ。ゝゝ[illegible]
ゝゝゝの[illegible]
[illegible]
[illegible]

けのはをかりもまううきてありぺくこそもと
ゑ一たうとくれもひぺゆくえんあぐ〜徒過み
あひたてまつりうせてその人物もそこぐつちとさ
つまてひくさもちゐ好せのをうりうりうえんおつもり
たくさはあるゆ(げえん)りくうまうくしぐさ

ありのをものつまあさ去(ゆく)まの孫ぐつり
きやうぐんゆどあうくものりあ

神宮寺

天子は紫宸殿の西の方にぞ
ぜんぜんの御ぞ
ぜんぜんの御ぞ
ぜんぜんの御

二源の城

ゆきうい袋よりまた秘かに若よりかたまりたるやうにひとあり。城のぞうげゆて
ものたるやうにいとよくしてあるのたるあり
あと寄嶽とうげ四公家根みてあるのたるあり
ものまたしくこのまぶ民を賜とゆづりあひぶまと
う武運長久天下泰平この時ぶくまれわろ
にしてあ句をざれ市も

のとけさやかんと代菅く髭矢奈

あまをてしめたくあるわ城郭乃
ゆりめどう亀つく代魚めしん

二でうのたろ